

1 はじめに

本校の今年度の特別活動の目標は、『学校行事や生徒会活動、その他の福祉活動等の主体的な実践を通して、集団の一員としての連帯感を高め合うとともに、豊かな人間性、社会性を身に付けた生徒の育成に努める。』『それぞれの目標に向かって、個々の良さを発揮し、協力して課題を解決する活動を通して自主的・自立的に活動に取り組む生徒の育成に努める』であった。今年度は、以下の内容に重点をおき、実践した。

2 資料（実践事例、写真等）

（１） あいさつ運動の実施

豊浦あいさつ日本一を掲げ、クラスで2，3名ずつ昇降口前に立ち、毎朝、あいさつ運動をおこなった。

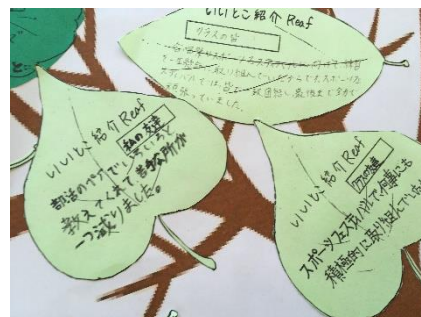


（２） 豊中いいところ発見週間の実施

生徒達のいいところや生徒達自身が頑張った所に目を向け、カードに記入し、学校の廊下に掲示をした。また、掲示物を見た感想を広報便りや給食時に放送で紹介した。

ア 豊中いいところツリーの作成、掲示（９月）

リーフ型のカードには、学年や学級の友達や部活動・委員会の先輩や後輩の頑張っているところや見習いたいと記入をした。



イ 豊中いいところハートの作成、掲示（２月）

ハート型のカードには、本年度に自分から進んで頑張ったことと仲間とともに頑張ったことを記入した。



3 成果と課題

本校では、毎年あいさつ運動が行われている。この取り組みから、朝のあいさつは大きな声で元気に交わすことができる。しかし、日常生活で自ら進んであいさつをするということはまだまだ定着していない。来年度は、あいさつ運動の実施だけでなく、あいさつの必要性や重要性も考える場を設定していきたい。豊浦いいところ発見週間の実施では、生徒達が友達の良いところに目を向けることができた。また、生徒達の感想では、『友達の良いところを知ることができてよかった』や『豊中生の頑張っているところを知るいい機会になった』という感想が挙げられた。このことから、学校の一員として認められている、生徒が自主的に活動に取り組む態度を養うことができたと思う。この取り組みは来年度も生徒会を中心として、実施していきたいと思う。